平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名　栄光ホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6053　URL　http://www.eikoh-hd.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）近藤　好紀
問合せ先責任者（役職名）執行役員経営管理部長　（氏名）大坪　裕之　TEL 03-5275-9789
四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,978	△4.7	41	△73.4	149	48.0	53	—
25年3月期第1四半期	9,426	—	154	—	100	—	△105	—

（注）包括利益　26年3月期第1四半期　7百万円　（—%）　25年3月期第1四半期　△77百万円　（—%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	2.53	—
25年3月期第1四半期	△5.10	—

（注）当社は、平成23年10月３日に単独株式移転により設立されたため、平成25年３月期第１四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	23,581	13,834	55.1	611.96
25年3月期	25,384	14,096	52.2	624.58

（参考）自己資本　26年3月期第1四半期　12,990百万円　25年3月期　13,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
26年3月期	—				
26年3月期（予想）		12.00	—	12.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想（平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,910	0.1	2,230	0.4	2,170	0.6	1,160	0.7	54.69
通期	42,450	1.1	4,250	4.1	4,140	4.2	1,570	2.3	74.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	21,873,024 株	25年3月期	21,873,024 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	645,453 株	25年3月期	663,753 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	21,218,296 株	25年3月期1Q	20,667,632 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、本日より当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、株高や円安により、企業業績や個人消費の一部に持ち直しの動きが見られたものの、為替・株価の不安定な値動き、欧州の債務問題や中国等の経済成長鈍化などの懸念から、雇用や所得の改善には至らず、先行き不透明な状況で推移しました。

当教育サービス業界におきましても、少子化傾向による学齢人口の減少が続き、厳しい経営環境が続いております。一方で、質の高い学習指導への期待、学習内容の増加に主眼を置く新学習指導要領の実施、今般の文教政策をめぐる議論の活発化、さらに祖父母等から教育資金の一括贈与を受けた場合における贈与税の非課税制度創設の動きも受けて、当業界への社会の関心は高まりを見せております。

当社グループは、このような状況のもと、顧客層をエリアや世代においてさらに拡大し、ニーズをより迅速かつきめ細やかに捉える「既存市場の深耕」と、これらとのシナジー効果が期待できる語学教育等の「新市場の開拓」を推進してまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の当社グループの業績は、学習塾部門の生徒数が前年同期の水準に届かなかったことなどから、売上高は8,978百万円（前年同期比4.7％減）となり、営業利益は41百万円（同73.4％減）となりましたが、投資有価証券の売却益などにより、経常利益は149百万円（同48.0％増）、四半期純利益は53百万円（前年同期は四半期純損失105百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔教育事業〕

教育事業の学習塾部門（学習塾「栄光ゼミナール」等）におきましては、より顧客ニーズに適したブランド展開を順次進めており、当第１四半期連結累計期間には、運営面の効率性等を考慮し１校を統廃合したことにより、教室数は合計で420校になりました。また、期中平均生徒数は67,140名（前年同期比1.6％減）となりました。

語学教育部門（語学教室「シェーン英会話」等）におきましては、収益性を踏まえた教室展開の見直し等が一巡し、当第１四半期連結累計期間の当部門の教室数は174校（フランチャイズ教室42校を含む）、期中平均生徒数は20,023名（同3.7％増）となりました。

当第１四半期連結累計期間の教育事業の業績は、売上高は7,138百万円（同3.4％減）、セグメント利益は425百万円（同16.4％減）となりました。

〔教育ソリューション事業〕

教育ソリューション事業（学校、学習塾等の教育機関に対する総合支援事業）におきましては、学習塾用教材・テストの販売を行う教育コンテンツ部門、私学の生徒募集活動を支援する募集広告部門「スクールネットワーク」、教職員の派遣・紹介部門「イー・スタッフ」等の部門が連携を深めることにより、ソリューションの強化を推進しております。

また、語学教材等の販売を行う語学教材部門も、グループ各社とのシナジーも活かして収益性の向上等に努めております。

当第１四半期連結累計期間の教育ソリューション事業の業績は、売上高は1,514百万円（前年同期比11.4％減）、セグメント利益は151百万円（同27.7％増）となりました。

〔その他の事業〕

その他の事業におきましては、印刷部門等が、教育事業及び教育ソリューション事業とのシナジーを活かした事業展開を図っております。

当第１四半期連結累計期間のその他の事業の業績は、売上高は325百万円（前年同期比0.0％増）、セグメント利益は27百万円（同35.2％減）となりました。

≪当社グループの第１四半期業績の特性≫

当社グループの中核事業である教育事業の学習塾部門の売上高は、夏期・冬期・春期の各講習が開催される第２・第４四半期連結会計期間に大きくなります。第１四半期連結会計期間の業績は他の四半期に比べ小さいため、事業を行ううえで恒常的に発生する固定費により営業利益が圧迫される傾向があります。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の財政状態については、資産の額は前連結会計年度末に比べ1,802百万円減少し、23,581百万円（前期末比7.1％減）となりました。これは主に、季節的要因による売上債権の減少等によるものであります。

負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,541百万円減少し、9,747百万円（同13.7％減）となりました。これは主に、買掛債務の支払い及び法人税等の支払いによる減少等によるものであります。

純資産の額は、前連結会計年度末に比べ261百万円減少し、13,834百万円（同1.9％減）となりました。これは主に、配当による利益剰余金の減少等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第１四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、前回発表（平成25年５月14日付）の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、さまざまな不確定要素や今後の内外情勢の変化等により、実際の業績とは異なる場合があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,438,995	1,315,830
受取手形及び売掛金	2,750,088	1,282,470
有価証券	77,172	77,172
商品及び製品	1,509,296	1,361,288
仕掛品	154,447	137,489
原材料及び貯蔵品	74,539	67,249
その他	1,734,616	1,482,544
貸倒引当金	△9,305	△6,738
流動資産合計	7,729,851	5,717,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,029,156	3,980,605
土地	3,141,572	3,141,572
その他（純額）	381,374	400,896
有形固定資産合計	7,552,103	7,523,074
無形固定資産		
のれん	1,026,387	981,438
その他	1,376,957	1,409,607
無形固定資産合計	2,403,344	2,391,045
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,096,820	3,090,840
投資不動産（純額）	2,175,794	2,158,126
その他（純額）	2,826,692	3,102,778
貸倒引当金	△399,767	△401,203
投資その他の資産合計	7,699,540	7,950,542
固定資産合計	17,654,988	17,864,662
資産合計	25,384,839	23,581,969

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,257,545	819,844
短期借入金	2,315,047	2,303,237
未払費用	2,188,486	2,437,716
未払法人税等	981,372	113,928
返品調整引当金	15,227	8,527
賞与引当金	18,537	10,522
その他	2,077,620	1,686,055
流動負債合計	8,853,837	7,379,832
固定負債		
長期借入金	385,750	270,500
退職給付引当金	1,917,829	1,958,785
その他	131,378	138,604
固定負債合計	2,434,957	2,367,889
負債合計	11,288,795	9,747,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,265,711	2,265,711
資本剰余金	3,172,189	3,179,057
利益剰余金	7,755,244	7,554,497
自己株式	△274,887	△267,308
株主資本合計	12,918,258	12,731,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	328,668	258,644
その他の包括利益累計額合計	328,668	258,644
少数株主持分	849,117	843,646
純資産合計	14,096,044	13,834,247
負債純資産合計	25,384,839	23,581,969

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	9,426,230	8,978,751
売上原価	6,751,185	6,437,247
売上総利益	2,675,044	2,541,503
販売費及び一般管理費	2,520,051	2,500,244
営業利益	154,992	41,259
営業外収益		
受取利息	1,110	861
受取配当金	4,983	8,452
投資有価証券売却益	―	102,601
受取賃貸料	90,563	114,904
その他	16,728	9,917
営業外収益合計	113,386	236,737
営業外費用		
支払利息	13,087	5,591
賃貸費用	144,897	106,114
その他	9,395	16,827
営業外費用合計	167,380	128,534
経常利益	100,998	149,462
特別利益		
固定資産売却益	4,190	1,363
特別利益合計	4,190	1,363
特別損失		
減損損失	5,150	69,772
その他	2,121	11,120
特別損失合計	7,272	80,892
税金等調整前四半期純利益	97,916	69,933
法人税、住民税及び事業税	89,958	113,011
法人税等調整額	82,616	△120,284
法人税等合計	172,575	△7,272
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△74,659	77,205
少数株主利益	30,854	23,442
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△105,513	53,763

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△74,659	77,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,801	△70,133
その他の包括利益合計	△2,801	△70,133
四半期包括利益	△77,460	7,071
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△108,645	△16,260
少数株主に係る四半期包括利益	31,184	23,332

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（平成24年４月１日から平成24年６月30日まで）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	教育事業	教育ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,391,467	1,709,195	9,100,662	325,567	9,426,230
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,406	514,339	521,746	586,153	1,107,900
計	7,398,874	2,223,535	9,622,409	911,720	10,534,130
セグメント利益	508,969	118,293	627,263	41,958	669,221

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業等であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	627,263
「その他」の区分の利益	41,958
セグメント間取引消去	4,022
全社費用（注）	△518,251
四半期連結損益計算書の営業利益	154,992

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（平成25年４月１日から平成25年６月30日まで）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	教育事業	教育ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,138,316	1,514,828	8,653,144	325,607	8,978,751
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,462	397,672	403,134	491,945	895,079
計	7,143,778	1,912,500	9,056,278	817,552	9,873,831
セグメント利益	425,708	151,083	576,792	27,198	603,991

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業等であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	576,792
「その他」の区分の利益	27,198
セグメント間取引消去	△6,219
全社費用（注）	△556,512
四半期連結損益計算書の営業利益	41,259

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。